



クエスト・ユーザーグループニュース Vol.48 2020年4月号

皆さま、こんにちは。新年度がスタートしましたが、新型コロナウイルスの感染拡大で不安の絶えない日々が続いています。大変な時ですが、気を緩めずに引き続き日々の健康維持と感染予防に努めましょう。さて、今号は4月30日までの春のキャンペーンのご案内と、毎回好評をいただいているサプリメントアドバイザーエッセイのテーマは「皮膚の問題を解決するためには」です。皮膚のお悩みのご相談をよくいただきますので、参考にして取り組んでいただけたら幸いです。

<<春のキャンペーンもうすぐ終了！4月30日16時まで>>

暖かくなり解毒するのに良い季節になってきました。

空気の中に含まれている汚染物質、土や水、また毎日使う洗剤類や化粧品、シャンプーなど私たちが暮らす環境にはあらゆる危険があります。日々健康に気を配っているつもりでも、こうしたものから知らず知らずのうちに体には様々なものが蓄積していきます。

ネオクレンズの解毒作用は、一般的な毒素や汚染の除去に役立つだけでなく放射性物質、水銀、アルミニウムなどの問題にも働きかけます。

また世間を騒がせているコロナウイルスに負けないためにも体に余計なものを溜めず、免疫力を上げておくことも大切です。

外に出られない日が続きますが、こういうときこそ解毒にじっくり取り組んでみてはいかがでしょうか。

今だけ「ネオクレンズ」4本セット 通常価格\$205が\$180に♪

さらに解毒の成果を目で見て確かめたい方には嬉しいお知らせが♪

「ネオクレンズ」4本セットのご購入者には、
3回の血液検査ができる「デトックス検査プログラムキット」
通常価格\$750が\$600になります！

興味がある方はこの機会に是非お試しください。

「ネオクレンズ」4本セット (番号：4045P)



臨床データ・採血検査3回分キット (番号：7950)
※キットには「ネオクレンズ」は含まれません

ウイルスから自分を守ろう！免疫力プラスセット

今だけの期間限定セット「免疫力プラスセット」

(ネオガード、でるサポート、ネオクレンズ) を特別にご用意しました。

通常価格よりも38ドルお求めやすくご提供させていただきます。

期間を延長して4月30日16時までの販売です。

「免疫力プラスセット」\$120



「免疫力プラスセット」 (番号：3030)

ネオクレンズQ&A

Q1)どんな人におすすめですか？

A1)小さいお子様からシニアまでの幅広い世代の方におすすめします。私たちは、日々何千もの毒素や化学物質にさらされています。空気や食物、水、また薬物などを通して体内に知らず知らずのうちに多くの毒素が取り込まれています。深刻な健康問題を引き起こす前に、体に溜まった有害物質を取り除きましょう。

Q2)摂取上の注意事項はありますか？

A2)薬について、抗凝血剤（ワーファリンなど）との併用はできないため、ご注意ください。またピルの併用は、好転反応により、経血量が増えたり不正出血のような女性特有のトラブルに似た症状がでることもあるため、薬の評価ができなくなるのでおすすめしていません。長期間薬を使用している（使用していた）方、多種類の薬を使用している（使用していた）方などは、まずは1カプセルから様子を見ながら始め、低用量（1日1～2カプセル）で継続するなどゆっくりと取り組むことが大切です。その他薬の飲み合わせなどについては、ユーザーグループまでお問い合わせください。

Q3)ネオクレンズ1本が1ヶ月分ですか？

A3)90日間のプログラムを実行するためには、ネオクレンズ4本が必要です。メンテナンス（プログラム実施後の継続摂取）の場合は、1日3カプセル目安で、ネオクレンズ1本で40日分です。

Q4)ネオクレンズは子どもに摂らせてもいいですか？

A4)小さいお子さんも摂れます。体重10～20kgあたり：1日1カプセルを目安。カプセルで摂れない場合は、中身を出して、食べ物や飲み物などに混ぜてもよいです。健康問題や発達等が気になるお子さんの場合は、取り組みが通常と異なる場合がありますので、ユーザーグループまでご相談ください。

Q5)妊娠中・授乳中はやらない方がいいですか？

A5)ネオクレンズを開発したギブソン医師によると、妊娠中・授乳中も低用量（1日1～2カプセル）で継続することは赤ちゃんのためにも有益とのこと。妊娠中も低用量を守れば安全に取り組むことは可能ですが、普段よりも体調の変化など敏感な時期ですので、好転反応がでる可能性も考慮した上で実施については検討してください。ユーザーグループとしては、できれば妊娠前に90日間のプログラムを済ませておくことをおすすめします。妊娠中・授乳中に実施できなかった場合は、赤ちゃんが離乳食が始まった頃に、まずネオガードチュアブルを粉状にして与えてあげてください。時期がきたらネオクレンズ（10キロ～20キロ／1日1カプセル目安）の開始について考えてみましょう。

Q6)持病があるのですが、いきなり解毒プログラムを実施しても問題ないでしょうか？

A6)解毒を効果的に実施するためには、ある程度体力が必要になってきます。持病がない方でも、解毒の取り組み自体が初めての方の場合は、まずは栄養補強を最低でも3ヶ月程度摂ってからがおすすめです。また持病のある方は栄養補強を最低3ヶ月以上摂って、体力がしっかりとついた後で考えてみましょう。取り入れる時期については、ご相談いただければ体調などを伺った上で提案させていただきます。プログラム実行時は体力を使いますので、栄養補強も一緒に摂るようにしましょう。

Q7)どんな好転反応がでますか？好転反応が酷い場合はどうしたらいいですか？

A7)好転反応は、その方の弱い部分にでることが比較的多いですが、一般的な好転反応例として、だるい、眠い、風邪症状（咳や発熱、喉の痛みなど）、痛みが移動する、検査数値の変化、湿疹、かゆみ、イライラ、便秘、下痢、頭痛、吐き気などがあります。また女性の場合は、一時的な生理周期の乱れや経血量が増えたり、不正出血のような症状がでることもあります。好転反応が出た時は、お水をしっかりと摂ることも効果的ですが、あまりにも反応が辛い場合は、無理をせずにサプリメントの量を減らしたり、場合によっては一旦お休みして様子を見ながら再開していただくとういでしょう。お困りのことがありましたら、ユーザーグループへ相談してください。

Q8)解毒プログラムを年に何度も実施してもよいですか？

A8)90日間のプログラムは年に2～3回取り組んでも大丈夫です。

<サプリメントアドバイザーエッセイ>

～ 皮膚の問題を解決するためには ～

クエスト・ユーザーグループでは『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』という小冊子を2010年に制作しています（クエスト会員の方には、1回に限り無料でデータをお送りしています）。

ある会員の方（ペンネーム：にゃにゃさん）がアトピーから回復する過程をまとめたものですが、もうあれから10年経つのだなと感慨深いものがあります。しかし、皮膚の問題に悩む方たちは相変わらず多いと感じます。

（「アトピー」とは、ギリシャ語で「奇妙な」という意味で、原因がはっきりしない様々な症状が皮膚に出ていれば、みな「アトピー」と言えると筆者は考えています。）

にゃにゃさんは、ご自身の体験をブログで書いていましたが、スタッフはそのことを知りませんでした。あるアトピーの方が会員登録したときにクエスト社を知ったきっかけとして「にゃにゃさんのブログ」とお知らせ頂いたことから読ませて頂くようになり、冊子にしたいというお願いを承諾して頂きました。

その冊子の最後に、にゃにゃさんより更に重度のアトピーから回復した経験のあるサポートスタッフ（現在非常勤）からのメッセージを掲載していますが、そのスタッフは自分の健康問題を解決するためにした様々な経験から生まれた健康に関する言葉を伝えてくれます。その一つに「クスリの力を借りて症状を抑えるということは、体に借金をすることだ」というものがあります。

命に関わる症状を除き、普段の生活で何らかの不調が出た場合、「クスリを飲んで（使って）症状を抑えて安心する」のではなく、家事や仕事の関係などで仕方なくクスリの力を借りる場合もあるかもしれませんが、それは解決ではないこと、それを繰り返すと体に借金が積み重なり、利息までついてあとで請求が来る（大きな問題として現れる）という意味だと思いますが、実際に健康問題を持つ方からのご相談を受けているとそのことが実感されます。

体調の問題で栄養補強を始めた方でも、途中から皮膚に変化（発疹、湿疹、ニキビ等呼び方は様々です）が出て慌てる方がいますが、それには原因が必ずあります。多くの場合は飲んだクスリですが、子どもの頃から無意識または言われるがままに塗っていた虫さされのクスリやステロイド、テレビや雑誌、インターネットの広告で見た美容液やクリーム、そういった皮膚に塗って来たものが原因だったり、食べ物の添加物、水など、体の中に入れて来たものが関係しているように感じます。にゃにゃさんの場合は、明らかにステロイドなどのクスリの問題が大きかったと思います。

以前、3-4歳のお子さんで、お母さんがとても食べ物などに気をつけていたのに、栄養補強をしたら激しい皮膚からの解毒が始まったということがありました。そのお母さんが思いつくことと言えば、自分は歯が弱かったのでお子さんにはそうならないようにフッ素の塗布を熱心に行っていたことくらい、ということでした。

皮膚から出ると、それが外から見える場所だと誰もが困りますが、皮膚から解毒するというのは、免疫力が低いとできないもので、皮膚から出たときはそれだけ免疫力が上がったと思ってむしろ喜んで頂きたい段階です。ゴールまでもう少しです。

もちろん、かゆいし辛いしそう思えない状況ではあると思いますが、それこそが皆さんが求める「解毒」であり、多くの方はこの山を超えたあとに問題にしていた症状がなくなっています。

皮膚から毒出ししている間は、化学物質を皮膚につけたり、口にするのを避け、体の声に従って「出すこと」を応援する以外にありません。

しかしここで、「栄養補強をしたせいで出た」のだからと栄養補強を減らしたり止めたりする方がたまにいます。そうすると、その状態のままで皮膚が回復しない、ということもあります。もちろん問題の症状もそのままです。

こういったことを事前に避けるためにも、健康を維持するためにも個人的に出来ることは、添加物のない食べ物を選び、水や空気にまで気を遣うしかありません。

水は今や最低でも浄水器を通したものの以外は飲まない/使わない方が良い段階に来ていると思いますので、外出時も水を持参したり、外の空気は自分で変えられなくても、マスクをし、寝室に空気清浄機をつけるなどの対策を取りましょう。

そして何らかの不調が出てそれを改善するためには「危ないかもしれない、もの」は避け、「できれば100年以上前から使っていて人間や動物に問題が起きてないもの、または問題が少ないもの」を選ぶくらいしかないと思います。

2020年の春は、ウイルスの蔓延により今までしっかり免疫力を上げてきたかどうか問われることになりました。タバコという毒を体に入れていた方は、予後が良くないという話も聞きます。

できるだけ自然の形で免疫力を上げる栄養補強を活用し、この大変な時期と一緒に乗りこえて行きましょう。

クエスト商品☆体験談募集中！！

あなたの体験談を募集しています。形式、字数は問いません。掲載させていただいた方に、50ショッピングポイント（約5,350円相当！）を進呈いたします。info@questuser.jp までお送りください♪

ユーザーグループオリジナル小冊子のダウンロード版を会員様に限り、無料進呈中！

クエスト会員様に限り無料にて、ユーザーグループオリジナル小冊子「アトピーと向き合う」、「リウマチ／膠原病と向き合う」のダウンロード版をお読みいただけます。

☆ご希望の方にはリンクをお送りしますので、ユーザーグループメール：info@questuser.jp または、電話：03-3969-9070までご連絡ください。なお、ユーザーグループのHP（<http://www.questuser.jp>）からもお申し込みいただけます。

（1冊子につき、お1人様1回限り無料でご利用いただけます。2回目以降の請求は有料となりますのでご注意ください）

☆冊子版（500円／手数料・送料込）につきましては、現在、「アトピーと向き合う」のみございます。

ご希望の方はユーザーグループのHP（<http://www.questuser.jp>）からお申し込みください。



①『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』（全64ページ／画像集あり）

ステロイド外用薬を約15年、免疫抑制剤を約3年使ってきた著者が、自然療法でアトピーを克服してきた記録。アトピーに限らず、体の不調を克服したいと思うすべての人に読んでもらいたい1冊です。

＊巻末には、24年間ステロイドを使用し内臓障害を併発しながらもアトピーを完治させたユーザーグループのアドバイザーによる、自然療法を始める前に、心理的、社会的に準備しておくべき要点を6ページにわたりまとめました。

『アトピーと向き合う～脱ステ・脱プロ・自然療法～』目次

はじめに	2
01アトピー経歴	5
02薬を断ったきっかけ	8
03脱ステ後の治療①～通院していた頃～	9
04脱ステ後の治療②～「治してもら」意識を捨てる～	12
05脱ステ前に試みたこと～体の中をキレイに～	13
06好転反応という考え方に合う	15
07栄養補強に出会う	17
08好転反応の嵐を乗り越える	19
09腸クレンジング～傷がない柔らかい肌～	27
10重金属の解毒①	29
11重金属の解毒②	33
12ヒールとメンドによる解毒	39
13二度目の腸クレンジング、ヒールとメンド&近況	50
14アトピーについて思うこと	52
15アレルギーマーチってご存知ですか？	54
おわりに	55
自然療法で完治を目指す前に サポートスタッフより	56
編集後記 クエスト・ユーザーグループ	62

画像集 I
p.23～

画像集 II
p.35～



②『リウマチ／膠原病と向き合う』（全82ページ）

リウマチ／膠原病からの回復を目指して、自然療法に取り組んでいる方向けのガイドブックです。

リウマチ／膠原病を解決しようとクエスト社の製品を使い始める方は大変多くいらっしゃいます。健康問題を解決するには、病気についてきちんと理解し、どのように生活を見直していったら良いのかを知ることが大切です。体に良いとされていることが、リウマチ／膠原病の方には無理がある場合もあります。また、回復過程に、さまざまな体調の変化が訪れます。回復のためには、そうした変化を好転反応として、きちんととらえ、自分の体調と向き合い「治してもら」という考え方から離れ、自分の心とも向き合う必要があります。そのためのヒントをまとめました。ご家族の方にも読んでいただきたい一冊です。

＊巻末の体験談集IIでは、多くのリウマチ／膠原病から卒業した方の例の中から、2人の方の回復過程を詳しくご紹介した未発表の体験談も掲載しています。回復途上の皆様の参考にさせていただければ幸いです。

『リウマチ／膠原病と向き合う』目次

1 リウマチ／膠原病とは？	7
2 検査について	10
＜検査数値の見方＞	
3 リウマチ／膠原病の治療	12
4 食事を見直す	14
＜食事の注意点＞	
5 生活習慣を見直す	19
6 好転反応の乗り越え方	25
◆痛みへの対処の仕方	
7 サプリメントによる栄養補強	
～お勧めのサプリメントと飲み方～	30
8 リウマチ／膠原病を治そう	
～完治のために～	34
◆薬を止める時期の注意点	
◆リウマチ／膠原病患者の家族の方へ	
9 モチベーション維持のコツ	38
10 治る人、治らないはここが違う	41
＜治る人＞	
＜治らない人＞	
11 健康を維持する／さらなる健康を手に入れる	42
体験談集Ⅰ	44
自然療法のみで回復した方たち	
薬+自然療法で回復した方たち	
参考体験談：繊維筋痛症のような症状から解放されました	
体験談Ⅱ	53
10年間のステロイド注射から卒業しました	
リウマチ症状、強膜炎、シェーングレン症候群からの回復	
薬を併用しながらリウマチを卒業しました	

薬剤師健康コラム

薬剤師専門相談の例	11
痛みと鎮痛剤のおはなし	23
季節ごとのアドバイス	43

コラム

ステロイド外用薬と痛み	11
断食療法について	16
現代型栄養失調について	17
腸内環境と免疫力	18
自分の治癒力を信じる	26
腹式呼吸法と丹田式呼吸法について	28
家事との関係	34
生活の工夫	35
妊娠と出産	36
子育てと治療	36
関節の変形	37

Q&A

冷え取りはいつまで行えばよいのでしょうか？私は冷えてないと思うのですが好転反応と悪化の区別がつきません
早く治したいのですが、サプリメントや水はたくさん飲んだ方が効果的ですか？
免疫力を上げるサプリメントはリウマチを悪化させ、クスリの効果を減らしませんか？
治った後もサプリメントを飲まなければいけませんか？
どうしても早く症状を取り去りたい
関節の変形が怖くて不安が大きい
薬は絶対止めた方がよいですか？

＜クエスト・ユーザーグループからのお知らせ＞

☆ユーザーグループでは、お勧めのサプリメントやサプリメントの効果的な飲み方、好転反応の乗り越え方、ご予算に応じたサプリメントのご提案・・・など、電話、またはメールにて相談を承っております。また、様々な健康問題を抱えている方のために、電話での専門相談（予約制／無料）もお受けしています。安心してクエスト製品をお使いいただくためにも、お気軽にご利用下さい。

●ゴールデンウィーク休業のお知らせ●

4月29日（水）、5月2日（土）から5月6日（水）までお休みさせていただきます。なお休業期間中もお問い合わせメールにつきまして通常よりもお返事にお時間を頂きますが受け付けております。ご不便をおかけしますが何卒ご了承ください。

～無料相談のご案内（予約制）～

＜予約方法＞メールか電話にてご予約ください。

☆薬剤師相談☆（いずれも10時、11時、12時）

4月：21日、22日

5月：12日、13日、19日、20日、26日、27日

☆リウマチ卒業生による相談☆（いずれも13時、14時、15時）リウマチから卒業したスタッフによる相談を行っております。脱薬時の不安など経験者だからわかることをお話いただけます（※初めて予約する方は、事前に健康チェックの提出をお願いしています）

4月：28日 5月：8日、13日、19日、28日

★☆留守番電話対応について★☆

ユーザーグループの電話相談時間は、現在のところ平日10時～16時のため、仕事などでご相談できないという方やメールを書く時間がないという方のために、受付時間外は、留守番電話でご用件を承っております。代表電話番号03-3969-9070に電話を頂きますと、英語のメッセージが流れますので、その後、会員番号、お名前、ご相談内容をはっきりとお伝えください。そして最後に、こちらからお返事するのにご都合の良い方法〔電話（固定電話のみ）、メールなど〕をお知らせください。

＜クエスト・ユーザーグループ＞

●WEBサイト

<http://www.questuser.jp>

●ユーザーグループ ブログ

<https://questuser.hatenablog.com>